

保育おおさか

No. 482

平成 27 年 10 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/



倉石哲也氏

保育者と子どもの「愛着」の重要性について次のように説明されました。
愛着とは一般的に「子どもと

9月1日、大阪府社会福祉会館で全体研修会が開催されました。武庫川女子大学・教授の倉石哲也氏が「配慮が必要な保護者への対応〈愛着を軸に考える〉」をテーマに講演。

全体研修会

身近にある困窮を見逃さない

子育て家庭へのさらなる支援の充実

スマイルサポーターフォローアップ研修（全体研修会、北大阪ブロック研修会）が開催されました。全体研修会では134人、北大阪ブロック研修会では42人が参加しました。

養育者の間で交わされる情緒的交流」のことを指します。

保育の世界でいうと「子どもが不安を感じる、危機的だと感じる状況で特定の養育者との情緒的安定を取り戻そうとする行為」です。

子どもが楽しい時は通常で良いが、子どもが不安を感じてそういった行為を行った時、養育者が愛着をもって手助けすることがとても大切です。

子どもは養育者に合わせて愛着の表現を変えるので養育者が複数いることは問題ありません。愛着関係は就学前までなら日常的な関わりの中で修正、改善ができます。

しかし、それ以降になると、困難になるため、保育園・こども園での関わりはとても重要です。

また、保護者から自分の弱い部分（愚痴など）を話すことは、大人の愛着表現で、共通の話題、ユーモアをもち、波長を合わせてコミュニケーションを取ることがとても大切です。

北大阪ブロック研修会

9月4日、守口文化センターで、保育部会・地域貢献事業推進委員会委員長の熊井茂治氏が講演。

熊井氏は、オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業「大阪しあわせネットワーク」の目的、事業内容を説明。「制度の狭間にいる人をど



助件数を提示し「身の回りに生活困窮世帯はそんなに無いのでは、と思いがちだがそうではない。

一人ひとりが身近に困窮があるという意識をもつことが重要」と強調。

最後に「保育士は保育園・こども園に雇われているという意識が強く、社会福祉法人の職員であるという意識は弱い。保育士というだけではなく、社会福祉法人の職員だという意識をしっかりとつことが重要。そして、社会福祉法人の使命としてさまざまな問題と向き合ってほしい」と結ばれました。

講演のあと、大阪府社会福祉協議会・社会貢献支援員が対応した事例をもとに事例検討会が行われました。貧困による生活困難のケースについてグループワークで、参加者はどのような支援ができるのかを議論しました。



体育の日といえ、以前は10月10日（昭和39年東京オリンピック開会式の日）でしたが、今では第2月曜日

となり、祝日の意味が少し変わってきたような気がします。

ところで平成28年から新しい祝日が増えるのをご存じでしょうか。「山の日」といつて8月11日になるそうです。これで1年間の祝日の数は、16日となり唯一、6月だけ祝日のない月になります。

その6月にも祝日をつくらうとする動きにまったをかけるのがゆとり教育だという話もあります。ゆとり教育で授業数が減ったため学力が低下した。これ以上学力が増えるとまた学力低下へと悪循環になるのだとか。昔は、土曜日に半日授業を受けて帰って、お昼ご飯を食べながら吉本新喜劇を見て笑っていたのを今でもよく覚えています。一部では土曜授業が復活しているようです。全国的に復活させれば話も進むと思いますが、みなさんはどう思いますか？（どうしても6月に休みが欲しいというわけでもないのですけどね）

「平成28年度大阪府当初予算に対する要望」
(本誌9月号掲載)について、府から回答がありました。概要を紹介します。



8月31日に要望

認定こども園の認可・認定権限等の権限移譲において、市町村における円滑な運用に向けて、十分な連携等を図られたい。

【府からの回答】

- 子ども・子育て支援新制度は、市町村が主体となって、地域のニーズに基づく幼児期の教育・保育、子育て支援の提供について計画を策定し、給付・事業を行い、府は実施主体である市町村を支える重要な役割を担っていると認識しています。
- 今般検討を行っている認定こども園の認可・認定等の権限移譲を行うことにより、地域における需要と供給のバランスにあった待機児童解消の取り組みをはじめ、より一層地域のニーズに即した子育て支援が可能になると考えております。
- 府としては、これまでも、市町村圏域会議等を通じ、市町村に対する新制度の周知や理解の促進、円滑な運用に向けた支援を行ってきたところでありますが、権限移譲を行う際にも、市町村において円滑な認可・認定等が実施されるよう、十分な連携・協力を図ってまいります。



よい子ネット

スマートフォンでの

操作説明会を開催

「よい子ネット操作説明会」を8月27日、大阪府社会福祉会館で開催しました。

今回はスマートフォンでの操作説明会ということで約2時間半、実際にスマートフォンを操作しながら、主な機能である「メール配信」「トピックス掲載」の2つの説明を行いました。「メール配信」は保護者が園のよい子ネットに登録

することで、園からのお知らせやクラスごとの連絡を受け取ることができます。説明会では研修用の保育園アカウントを使い、登録の方法や、受信、送信を実際に体験しました。受講者からは「お知らせやメールの機能を活用して、保護者への対応をスムーズにできるといった声がありました。

「トピックス掲載」は各園のページでブログのように文書や写真をアップできる機能で、行事のようすや報告をアップできるので「利用すれば保護者としても園でのようすが垣間見られて安心」との声も。

実際にスマートフォンを使って実践

園のページでブログのように文書や写真をアップできる機能で、行事のようすや報告をアップできるので「利用すれば保護者としても園でのようすが垣間見られて安心」との声も。

会だったためか、終了後も「もっと深く聞きたい。1日研修でも良いくらい」と積極的な声もありました。保護者と園とがスムーズに連絡ができ、お互いの信頼感を深めるツールとして多くの園で広く活用していけば、子どもも保護者も安心して園を利用できると思います。

また、よい子ネットは地域に寄りそい、災害や防犯の情報配信機能もあり、警報・注意報・不審者情報など町の安全管理にも一役買っています。まだ活用していない園はぜひ活用していただきたいと思います。11月にはパソコンでの操作説明会の開催も予定しております。

(調査研究委員会M・M)

スマイルサポーター

地域貢献支援員養成研修「第二期研修」のお知らせ

申込締め切りは9月30日(水)となっておりますが、定員に余裕がありますので、ぜひ、受講いただき「スマイルサポーター」の認定をお受けください。

なお、開催要項につきましては、すでに各施設にお配りしていますが、ご入り用の場合は事務局までお問い合わせください。

TEL. 06-6762-9001

社 会福祉法人成光苑千
里丘愛育園は、昭和
25年4月に設立されました。
定員は180人。摂津市
の北西部、吹田市と隣接し
ています。

歴史ある法人の理念のもと「思いやりのこころ」で子どもたちを「豊かなこころ」に育てていく。たくさん子どもたちと共同で過ごす中で多くの学びと遊びを経験し、深い愛情で豊かな感性を育みます。

そこで実践されているのは立腰。いつも腰骨を立てて、姿勢を正しくする。とてもシンプルなことですが、一度身につければ心身ともに役立つ、一生の宝物となります。

平成16年度に園舎を新しくしたのとあわせて、安田式遊具「ジャングラミング」を取り入れました。園舎と遊具が一体となったダイナミックな遊具で、登ったり滑ったり色々な遊びを自分で考えながら遊ぶことができます。

手足の力が弱い子が増える中、遊びを通して自然に手足の力もつき、引き締まったからだつきの子どもが増えてきました。年長組になると遊びが広がり、逆上がりや前回りをして滑り台を使って降りてくることのできる子どももいます。また、移動式のうんてい



ダイナミックに遊びます

立腰で姿勢ただしく

姿勢のよい姿は一生の宝物

保育所

せんりおかあいくえん

千里丘愛育園

摂津市

また、移動式のうんてい



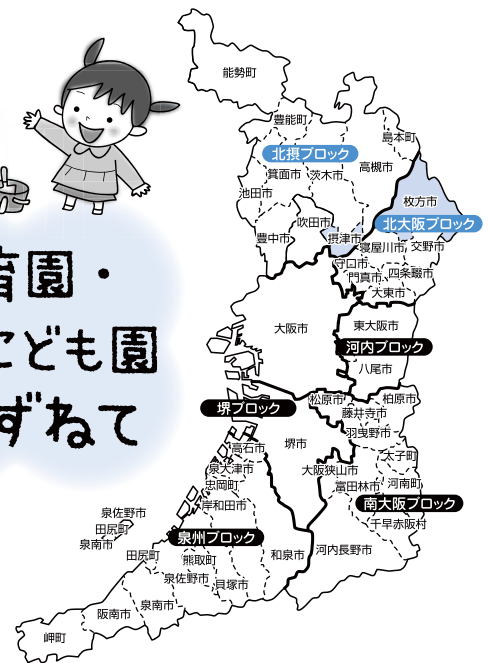
みんなで背筋をピンっと！

や鉄棒にもチャレンジしており、逆上がりや連続逆上がりができるようになると、それが自信にもつながります。運動会で保護者の方に披露するのを楽しみにしています。

(編集委員 M・H)

保育園・
認定こども園
をたずねて

525



大きなイルカのマークが目印

年齢児の交流をされています。子どもたち一人ひとりの「気もち」を大切に、笑顔で人間性豊かな子どもを育てることを目指し、日々保育をされています。

子どもが主体的に取り組む、自分で行動する力を育むことを大切に保育されており「これで遊びたい」「こんなことがしたい」と子どもたちからたくさん声が聞こえてくる保育園でした。

枚方市

保育所

ふなはし

船橋保育園

社 会福祉法人船橋福祉
会船橋保育園は昭和
48年に定員90人で開園。
平成18年に園舎を建て替
え定員120人で運営され
ています。京阪樟葉駅から
徒歩10分の駅近ですが、周
りは田畑に囲まれ、旬の野
菜やお米などの収穫を見て
四季を感じることができま
す。

0、1歳児は育児担当制、
2歳児はグループ制を取り
入れ、幼児クラスでは「よ
つばのクローバー」（異年齢
児保育）を月2回行い、さ
んぽや食事、作品と一緒に
作るなどの活動を通して異
年齢児の交流をされています。



今からさばきます♪

(編集委員 T・T)

南海高野線浅香山駅から徒歩13分。昔からの住宅街にある文化保育園は昭和28年に開園されました。

5階建の園舎の入り口には、創設者の銅像と、二宮尊徳の石像がありその歴史を感じさせてくれます。



園舎

を保育目標に、人に迷惑をかけない人（自分のことは自分でできる自主性をもった人、人に親切にできる人（自分の余力を人のために使う人）、自分からする人（主体的に行動し、自分の力を発揮する人）を目指す人柄として、1、あいさつは自分から先にしよう（明る

人間形成の根幹をなす0歳から6歳の幼児教育という分野において、その重要性を真摯に受け止め、個性を尊重し社会性を育み、惜しみない愛情を注ぎ、幼児一人ひとりの「人」としての成長に寄与することを基本方針に、第1は躰、第2に知育、第3には体力作り

人としての成長に取り組む

保育所
ぶんか
文化保育園

堺市

また、論語の音読にも取り組んで



二宮尊徳石像

とくに立腰保育に力を入れられており、腰骨を立てることで、心と体を整え、自分らしく生きる意志力、根性、主体性の土台がつけられます。

（編集委員 T・S）

おられ、子どもたちが腰骨を立て姿勢を正し、論語を音読する姿には迫力を感じます。現在、音読の全国大会で3連覇されているそうです。このほか英語、漢字、音楽、体操、スイミングなどにも積極的に取り組まれています。躰を大切にされる浅田三男園長の話に感銘をうけ園を後にしました。

保育園・認定こども園をたずねて

526



獅子舞

歳児、大工方の踊りを見ただけで町名がわかる幼児もいます。太鼓の響きが子守唄といわれるきしわだつ子には独特の音感、リズム感が育つといわれています。

当園では、3年前よりバイオリンを保育へ取り入れています。『どの子も育つ、育て方一つ』というスズキ・メソッドの理念は、才能は誰にでもあり、環境によって養われると考える点を大切にしており、保育に通ずるものがあると取り組んでおられます。

（編集委員 Y・S）

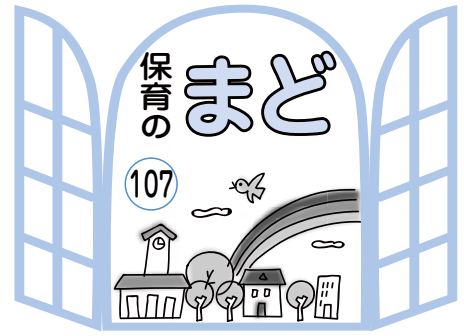
どの子も育つ。育て方一つ 子どもたちの意欲づくり大切に

保育所
ごふうかい
五風会保育園

岸和田市



みんな真剣な顔で演奏！



シリーズ●より良い保育士養成のために

－ 保育者のためのキャリア形成 － 保育現場における保育職の 継続につながる支援について － 共同研究の結果から －

相愛大学 直島 正樹

保育職の継続につな がる支援の重要性

保育現場と保育士養成校との連携のもと、「より良い保育者」の育成を進める上では、さまざまな課題があります。その一つに「保育職の継続につながる支援のあり方」があげられ、全国保育士養成協議会専門委員会が行った調査でもその重要性が指摘されています。

また、大阪府社会福祉協議会保育部会や大阪市私立保育園連盟（私保連）の主催で毎年開催される、保育現場と養成校との研究（就

職）懇談会などでも議論が行われている部分です。

保育職に就いた養成校の卒業生が、特に卒業後3年目までの初任者の頃に離職するケースが多いという実態が明らかになっており、個々の組織では支援策について模索し、実施されていると思います。

ただし、保育現場と養成校が共有できる情報や具体的な支援のあり方について示された資料などは少ないのが現状ではないでしょうか。

このような状況から、私たちの研究グループは、保育現場における保育職継続

のための支援の実態を把握し、より良い保育者の育成に向けた一助とするため、大阪市内の保育所を対象に調査を実施しました。

これは、保育現場（特に私保連加盟園）と連携して行った共同研究^{※注}で、約140の保育所から回答をいただきました（施設長・主任中心）。

今回はその研究結果を踏まえながら、「保育現場における保育職の継続につながる支援のあり方」について述べていきたいと思います。

保育現場における 支援の例

本調査では、「新採用職員（保育士）を支援する体制」について尋ねましたが、「新任職員研修の実施」「園外の研修会への参加奨励」など、何らかの支援体制を整えている現場が大半でした。研修の内容としては、「職務分担の理解」などをはじめ、「健康・安全管理について」「子どもの発達理解」「保護者理解」などの回答数が多く見られました。

また、「過去5年間で1年以内に退職した保育者もいる」と回答されたところもありました。このような中、継続に向けた取り組みとして、「主任が個別に職員に声をかけたり、話を聞いたりするよう心がけている」「ストレスなど耳を傾ける雰囲気づくり、場づくりをしている」という回答が多くあがっていました。

その他、「適時、気になれば声をかけをし、個別に話す機会をもっている」「職場環境改善委員会があり、法人全体で職員みんなの意見を取り入れている」などがあり、各保育現場において、保育者への細かな配慮・支援を実施されているようすを把握することができました。

保育現場から養成校 への要望を踏まえて

保育現場から養成校への要望についても、自由記述形式で尋ねました。この中で最も多かった回答は「カリキュラム・指導内容・授業」に関するもので、「学生の耐性がアップするプログ



ラムの実施を望む」などの意見がありました。

次に多く見られた記述は、「学生支援に関する要望」でした。

具体的には、「定期的に卒業生が集い、気軽に話せる場の設定」「養成校での専門的な講義や実技といったリカレント教育の実施」などが挙げられており、特に卒業生への支援に関する内容が多く見られました。

その他、「養成校との連携に関する要望」もあり、「就職後も養成校との連携がとれるようなシステムの構築」「現場職員と養成校教員とのつながりがとれていると安心する」などの意見が述べられていました。

以上のことから、保育者としての専門性のみならず、耐性のある（我慢強い）

人材を育成するには、養成校と保育現場が共に考え、卒業生をサポートする取り組みの実施が必要であるといえます。例えば、養成校が現任者研修を開催し、保護者支援などの事例を踏まえて現場の先生と共に検討する、現場と養成校が抱えるお互いの課題（悩み）を実質的に話し合う機会を増やすなどの方法が考えられます。

「今どきの学生（新任職員）は困ったものだ」「養成校で何を勉強してきたのか」などという考え方はなく、多くの学生が保育職に就き、継続できるよう、保育現場と養成校が「お互いに顔の見える関係づくり」に努めることが必要ではないでしょうか。その上での前向きな支援のあり方の検討が望まれるところで

す。

※注：全国保育士養成協議会「平成22年度ブロック研究 研究費助成」（テーマ：保育現場および保育士養成校における保育職の継続のための支援に関する調査研究／研究代表者：中西利恵（相愛大学）

北摂

保育就職フェア

2015

8月1日、グランフロント大阪内のナレッジキャピタルコングレコンベンションセンターで、2016年3月卒業予定者および一般求職者を対象に、合同就職

説明を行うことを目的に保育士就職フェアを開催しました。

22法人(48カ園)が出展し、各ブースではパーティーションに子どもたちの普段のようすや行事のようす、法人の運営方針などを展示、夢と希望をもって保育士としての一歩を踏み出せるような親しみと優しさを



保育園の現場のようすを説明

もたせる工夫がされていた。

北摂ブロック会長武内慎吾氏からのあいさつと運営協力会社による説明の

後、12時30分から来場者のブース回遊が始まり、終了時刻の16時まで大勢の学生や一般求職者が熱心に保育士として活躍する場を模索していました。

各法人とともに、雇用条件や勤務体制、行事の運営等をわかりやすく伝えようと努められており、さまざまな質問にも丁寧に答えている姿が見られました。

全体的な保育士不足が社会問題となっている今、各

河内

「聴き役が主役」なら人間関係は良好に！

(編集委員M・K)

園が存在をアピールする姿勢が求職者側へ直に伝わっていき実感がもてた、求職者と雇用者の双方に実りある出会いの場となり、法人の人材確保の大きなきっかけとなりました。

8月18日、ホテルアウィー

ナ大阪で八尾市と東大阪市の合同園長研修会を開催。キャリアコンサルタントの小林順一氏に「しゃべり過ぎがトラブルの元凶です！爆笑！全員参加の『黙り方教室』」を講演いただきました。

まちがった言葉の使い方から起こるコミュニケーション



コミュニケーションについて学ぶ参加者

ション不足、事例を幾つか話され、①なぜ口は1つしかないのに耳は2つあるのか②会話での沈黙を恐れるな！しゃべり過ぎに紛れ込む失言③人の話を聴くべきなのに自分の話ばかりする人に将来はない④人間関係のトラブルは相手も自分と同じ考え方と思ひ込むことから⑤人は最後に自分の話を真剣に聞いてくれた人についてゆく⑥『黙り方教室』とはなにか？のあと、2人1組で話し役と聞き役を交代するロールプレイ。聞き役は「さ・し・す・せ・そ」の原則で、「さすが」「しりませんでした」「すごいことです」「説得力があるね」「そうなんです」と時々オウム返し以外話さないルール。開始と同時に活発なトークや笑い声が随所で展開され、さすがは園長集団と実感しました。

「聴く才能」が最も価値がある才能！人の心に寄り添い共感せよ！とまとめられた。相手の話を傾聴することこそ人間関係を良好にする。あらためて私自身の戒めになる有意義な研修会でした。(編集委員S・S)



さんぽ

今年4月から子ども・子育て支援法が施行され、はや半年が過ぎました。泉州ブロック(会員内)では、平成27年4月1日現在、施設・事業所種別別は保育園48園、社会福祉法人から幼児保連携型認定こども園に移行が37園、泉州ブロック内の学校法人から幼児保連携型認定こども園に移行が6園、市町村で幼児保連携型認定こども園に3園が移行しました。

地域の状況に応じた質・量の確保に向けて

泉州ブロック

きています。今、保育園の設置者は、他に株式会社やNPO法人などが参入することができ、中でイコールフットリングが議論されています。このような中、保育園のままで

ども園へ移行を検討している園が6園、学校法人から1園が移行します。今後は幼稚園がどれくらい幼児保連携型認定こども園へ移行してくるかはわかりません。そのような状況を踏まえ

私たちには、常に最新の情報を入手・分析し、子どもにとって最善の利益をもたらすことができるよう、行動しなければならぬと思います。(池上わかばこども園 Y・H)